

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	いつまでも人としての尊厳が確保できる為に、選択の自由、安心出来る空間と助け合う人間関係、人権とプライバシーの確保、活動的で意義深い生活が出来る様、自由で新しいグループホームの理念として掲げ、会議等で確認と追求を行なっている。	○	地域の中に事業所の理念の理解を深めたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	地域の行事に積極的参加（祭・地歌舞伎・カラオケ大会など）。近隣住人との交流。家庭意的な雰囲気づくり。一日のスケジュールは決めないなど自由度の高い生活について運営委員会やスタッフ会議・各委員会を設置し、理念の追求と学習を行なっている。	○	理念の追求と学習を常に行い全職員が共有でき、新たな実践を目指したい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	契約時や家族訪問時に説明を行い、施設内に事業計画書が配置されいつでも見る事が出来る。会報を発行し蛭川・高山全世帯及び賛助会員へ配布し浸透に努める。地域推進会議開催時に理念の説明を行なう	○	今後も「ひなたぼっこ」会報及び「そよかぜ」通信の発行及び配布により、理念の浸透を図りたい。
理念				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	管理者・職員は近隣へ挨拶を行い、交流を深めている。近隣者の訪問・ボランティア・野菜や漬物などの差し入れも有り支えられている。地域の防災訓練参加と施設の防災訓練参加の呼びかけ。	○	近隣の人々との気軽な交流を深めたい。（そよかぜが溜まり場になれる様な）
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に参加し、行事、地域活動にも参加している。（夏祭り・清掃活動）	○	入居者も職員も地域の行事等に参加し交流を深めたい。

岐阜県. そよかぜ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	野菜等の契約購入によって近隣高齢者の生きがいに役立てたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	評価後も意義の理解を深め、各会議を中心に論議し改善に努めたい。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	会議の意見を活かし、介護の質の向上に結びつけたい。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	市担当者との意見交流も含め連携を保ちたい。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	専門的な学習を行い理解を深めたい。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	「高齢者虐待防止関連法」の学習を行いたい。

岐阜県. そよかぜ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、個々の立場に立った十分な説明を行い、納得を図っている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱が施設内に設置され運営委員会で管理しているが、常に意見など聞きだす努力をしている。利用者（本人）・家族の意見は常に運営委員会で検討されている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	来所時、又は必要に応じてケアマネより具体的報告あり。月一回そよかぜ通信の発行。行事等への参加を呼びかけ意見交流を行なっている。金銭出納帳の状況、来所時に報告。	○ 家族会の充実を図り、定期的な会合を持っていきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常に管理者は苦情意見等の情報収集に努める。ご家族も運営委員となり、委員会に意見を反映している。家族会向けアンケートの実施。	○ 苦情、意見があれば、速やかかつ適切な対策をこうじたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回の運営委員会やそれに伴う専門委員会で職員の意見や提案がおおいに反映されている。職員は全て運営委員となり、運営に参加している。	○ 今後も運営委員会の充実を図り、意見の反映をしていく。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の受診及び体調変化に勤務調整を行い柔軟な対応を行なっている。個別の要望にも可能な限り対応している。	

岐阜県. そよかぜ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員移動はほとんどない。採用前、施設の理解を深め、離職防止をしている。	○	「新しい働き方」の追求をし働きがいの有る職場を目指して離職防止に心掛けたい。
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時の職員研修を行っている。必要な研修、自主的な研修の受講機会を提供し、援助している。運営委員会として研修を重要課題として位置づけている。月一度のミニ研修の実施。	○	自己形成や仕事への自信が待てる職場環境づくり。研修により知識・理念の習得を行なう。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	医療福祉ネットワーク、地元社協との交流や連携、グループホーム協議会に入会し学習の機会を設けている。市内のグループホームとの交流を行なっている。	○	今後も交流を通じ向上を目指す。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員間の親睦会を設け、交流の場をつくっている。処遇委員会を設け、職員の意見を吸い上げ改善に努めている。	○	ストレス軽減の勉強会開催予定。職員の休憩場所の確保をしたい。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	新しい働き方の追求。平等な勤務体制・賃金体系を図り、個々の創意工夫が実績となり共有されている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前より本人の趣味や嗜好を把握し対応した。本人の帰宅願望にも耳を傾け一時帰宅や家族の訪問など柔軟に取り入れた。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前の訪問を行い家族の不安や悩みの相談も聴きながら良好な信頼関係に努めた。現在も交流を持ち信頼関係に努めている。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	疾病への配慮と対策。通院方法の支援。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所当初は職員との信頼関係に努め、利用者の思いを最優先にした。入居者と職員が顔なじみである。親戚関係だった。同地域の共通の知人があるなど安心感の持てるよう努力している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の教訓となる言葉を教えられ書きとめている。折り紙・手芸など一緒に楽しみ作成している。調理の下準備、味見、畑の世話など本人の出来る事を大切にしている。	○	～さん語録の作成。作品展の実施

岐阜県. そよかぜ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の誕生日を家族と共に祝う。行事（花見・祭り見物・夏祭り）への参加要請をし共に楽しんでいる。家族会と合同の学習会開催の実施。	○	家族会の充実。家族の運営への参加。家族のボランティア参加。家族を含む学習会の開催。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族訪問を重視し、気楽に来所できる環境を提供している。食事管理・健康管理・声掛けによる生活意欲等の不安解消の支援。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の顔なじみや友人へ働き掛けを行い来訪の機会を作った。住み慣れた地域への祭りや行事に参加する機会を大切にしている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	お互いの部屋を行き来して過ごされることがある。軽度の方が重度の方をいたわる姿が見受けられる。関係不穏な場面はスタッフの対応で解決している。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	本人や家族との信頼関係を大切にしている。	○	賛助会員となっただき、通信の配布・相談・ボランティア・運営委員等で交流と支援の関係を保ちたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々のアセスメントをよく理解し、各担当者会議やスタッフ会議において本人の立場に立った検討を行なっている。常に家族との連携を密にし暮らし方等の把握に努めている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族やサービス担当者、親戚などから生活歴、暮らし方、友人関係等も聞いて細心の把握に努めている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの意義ある生活や暮らし方を常に模索しスタッフ会議の中心課題とし検討している。	
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人本位の計画作りのため、本人、家族、必要関係者で意見を出し合い、実施記録やスタッフ会議での検討（入居者の変化、気づき、思い等）を取り入れサービスの見直しも随時行なっている。	○
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	家族や担当スタッフ・担当ケアマネ（施設ケアマネ以外の資格者）を交えサービス担当者を開催し、他にスタッフ会議でも毎月課題を全職員で話し合う場を設け、現状に即した必要に応じた見直しを心掛けている。会議の調整や事務処理等の関係で多少のずれが生ずる事も有る。	○
			今までの暮らしぶりに近づけ、自立した本人らしい生活作りへの模索の取り組み。ケアマネだけの主観でなく、スタッフのアイデア、気づきなどを反映したチームでの取り組みを継続していきたい。
			業務の関係上事務処理の遅れが有り期間のズレが生ずる面を改善し、個々の気持ちに寄り沿うサービス計画の充実に努めたい。

岐阜県. そよかぜ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録に日々の様子や変化、ケアの状況等を記録し、適確な申し送りを行なっている。スタッフ会議での課題分析や情報の共有に努め実践に活かしている。一ヶ月ごとに実施状況に基づく評価を出し見直しに反映させている。</p>	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>自主サービスの助け合い事業で通院介助を行っている。本人の要望に応じた柔軟な支援も行なっている。家族の要望に応じ相談や他機関への連絡も速やかに対応している。</p>	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>地域のボランティアによる行事への参加協力。消防による救急救命講習の開催。地域の自主防災会との連携。地元の歌舞伎、祭り、運動会等への参加。</p>	<p>○</p> <p>社協や老人会の催しにも参加したい。地元の保育園や小学校との交流も計画したい。</p>
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>中津川市のケアマネ部会などに参加し、地元の社協などへのケアマネによる情報提供を行なっている。</p>	<p>○</p> <p>今後も部会に参加し、他の事業者やケアマネと交流し他のサービスの利用など必要に応じ有効利用し支援していきたい。</p>
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括支援センター主催のケアマネ部会や講習会に参加している。</p>	<p>○</p> <p>今後権利擁護など必要な時に相談していきたい。</p>

岐阜県. そよかぜ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	<p>本人の状況に応じ適切な判断と対応をし、家族や本人と相談しながらかかりつけ医とのいい関係を築いていきたい。</p>
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>終末期ケアについての話し合いを充分行い、職員間で方針の統一を図りたい。本人、家族の気持ちや思いを汲み取り柔軟な対応をしたい。状況変化に対応した話し合いも行ないたい。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>スタッフ会議、運営委員会等で充分検討し方針を出して行きたい。医療関係者との連携の確立を図って行きたい。</p>

岐阜県. そよかせ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	今現在は、住み替え希望無く今後の課題である。	○	住み替えの希望があれば、本人や家族の不安解消に向けたあらゆる支援を行ないたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	理念として職員研修でも学び、日常生活の中で相手の立場、気持ちに配慮した対応に心がけている。記録等の個人情報の取り扱いも適切である。スタッフ会議等で常に点検し話し合っている。	○	個人情報保護法の理解を深める為、学習会を行ないたい。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日常生活の中で本人の思いや希望を聞きだす努力を職員全員が心がけている。特に重度の方への対応は本人が理解出来るまで待つことを心がけ、本人のシグナルを見逃さない様に努力している。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床から食事、入浴など生活の全てを一人ひとりのペースに合わせた生活作りに努めている。スタッフ会議においてもその人らしい暮らしを追求している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	身だしなみの整え、着替え、おしゃれについても個々に支援している。理容はボランティアで理容師の協力を得ている。選択可能な方は自分好みの服装や髪型を楽しんでおられる。		

岐阜県. そよかせ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	将来的には喫茶コーナーを設け、自由に飲んだりできる様にしたい。
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		昔ながらの行事や生活体験への参加により記憶が蘇り力を発揮することができた。(カラスミ・五平餅・米搗き・手芸等)一人ひとりの生活歴や楽しみを探り生き生きとした姿を見出すことができた。

岐阜県. そよかぜ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人や家族の希望によりお金の所持や買い物等の楽しみが確保されている。又お金の出納については、個々の出納帳で管理し家族への確認を行なっている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	行事としての戸外活動の取り組みと同時に、その日の希望に添った外出も多くある（買い物・喫茶店・散歩・花見・家族との外出・草取り等）		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	地域の祭り、地歌舞伎、花見、カラオケ大会など家族と一緒に楽しみ支援している。家族との小旅行や外出の機会もつくり支援している。	○	墓参り、温泉旅行など希望があれば実施し支援したい。日帰り温泉2月に予定されている。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人自ら電話をされ、友人や家族との交流を楽しまれている。又手紙を書く支援も個別に行いやり取りができています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族や馴染みの方の訪問は度々あり、職員の対応もよいとの評価も頂き、本人と同じ気持ちで歓迎することができる。湯茶等の用意、スペースの工夫も行なっている。場所や訪問時間の制限も無く自由である。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	『身体拘束を禁止する方針と手順』に基づき研修も行き、個々の安心・安全の確保と同時に人権を守り『拘束は行はない』という立場でスタッフ会議等において研修を行なっている。	○	『身体拘束禁止推進委員』有資格職員によりスタッフ会議での助言や勉強会を行ないたい。

岐阜県. そよかせ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>事業者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	危険回避のブザーについても拘束の一部との認識討論もあり、事故防止対策の安全意識の向上を全職員で確認し研修を行ないたい。
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	○	スタッフ会議においても、安全意識の向上を図り問題点を共有し職員全員で意識の向上に努めたい。
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	ヒヤリハット対策を全員で検討し共有しながら事故防止に取り組んでいきたい。講習や研修により職員個々の意識の向上、知識・技術の習得に努めたい。
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	年1回以上の防災訓練を実施したい。地域との協力関係の強化に努めたい。職員は入居者の避難方法を常に習得するよう努める。

岐阜県. そよかぜ


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p> <p>契約時及びケアプラン見直し時などに話し合いを行なっている。リスクの大きい方については随時家族と話し合い検討している。リスクマネジメントの研修に参加した。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>日々の申し送りの必須項目となっており、速やかに情報が共有されている。異変の対応にも管理者が把握し医師への連絡相談が速やかに行なわれている。医師への情報提供も適切である。家族への連絡も速やかに行なわれている。</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>看護師資格を有する職員が、確実な服薬管理を行い他の職員に説明され、申し送り方法も確立されている。服薬確認は誤薬防止の為に二重に行なっている。配薬時、声だし確認を行なっている。病状変化の対応も医師と速やかに相談している。</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> <p>『便すっきり表』を作成し個々の排便習慣を把握し食べ物や水分で調節し工夫を行なっている。体を動かす働きかけ（散歩・体操・ゲーム）を随時実行している。医師と相談し便秘薬を服用することもある。</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> <p>朝夕は個々の力に合わせた援助を行っている。義歯の異常や歯茎の異常の発見もでき、歯科への受診援助もおこなった。</p>	○	口腔ケアの研修を実施したい。毎食後の口腔ケアに努めたい。自力で歯磨きされる方の支援策の検討。歯科往診の要請。
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> <p>一人ひとりの好みに添った献立に配慮し、個々の状態に合わせ、食事形態を全職員が把握、観察し柔軟な支援を行なっている。日々の水分補給や食事量の観察などはケアの中で心掛けている。</p>	○	チェック表の確実な管理を行いたい。

岐阜県. そよかぜ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染予防対策のマニュアルを設置し実施し、外部の研修やスタッフ会議で随時研修を行ない知識と意識を高め感染予防に努めている。「感染防止研修」に参加した。常に手洗いうがいの励行に心掛けている。		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	常に新鮮な食材の利用を心掛けている。調理具、台所の衛生管理は担当者が一日の終わりに煮沸消毒等を行なっている。常時、食洗器、乾燥機を使用している。「台所心得」の掲示、検食、冷蔵庫検温により、衛生管理を行なっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	一般家庭と同じ様な、玄関まわりとなっており、どこからでも出入り自由な建物構造となっている。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全体を和風感覚にして、住み慣れた雰囲気、安心感の持てる工夫をしている。窓から季節感がうかがえる様解放的である。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居場所は居室、フローア、畳部分、ベランダなどどこでも自由に過ごすことができる。		

岐阜県. そよかぜ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県. そよかぜ

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者一人ひとりの希望や思いに添った援助に心掛けている。事業所やスタッフの都合でなく、皆さんのその日の気分や願いを取り入れる努力をしている。例えば帰宅願望方へは（他の方はドライブ気分）自宅まで送り、20～30分過ごしていただく。それだけでも満足されておられます。又買い物や喫茶店に行きたいとの要望に応じて、一緒に出掛け楽しむことができます。